

各 位

一般社団法人 電子情報技術産業協会

## ◆◆新春◆◆ 「電子情報産業の世界生産見通し講演会」 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の諸事業にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。このたび平成23年度『電子情報産業の世界生産見通し』（赤本）、ならびに注目分野に関する動向調査～クラウドコンピューティング、LED、太陽電池セル・モジュール～結果についての講演会を下記要領にて開催致します。ご関心をお持ちの各位におかれましては、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

**日 時**：2012年1月13日(金) 14:00～17:00  
【受付開始 13:30】

**場 所**：全国町村会館 ホール(2階)  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35  
TEL:03-3581-6767(代表)

- ◆有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
- ◆丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分

**定 員**：216名(定員に達し次第、受付を締切らせて頂きます。)

**申込締切**：2012年1月10日(火) 【事務局必着】

**参加費**：一 般 8,000円(お一人様につき、税込み、赤本・注目分野報告書付き)  
会 員 会 社 5,000円( 同 上 )

- ◆参加者には「電子情報産業の世界生産見通し」（赤本、注目分野別冊付）を一冊進呈致します。
- ◆会員会社には、当協会の会員会社ならびに協力団体（7団体）の会員会社も含まれます。  
※協力団体（7団体）：CIAJ、CIPA、JEMIMA、JEDIC、JHIMA、JIRA、JPCA、WSTS-JC
- ◆一旦お振込頂いた受講料はご返却できません。代理の方の出席をお願い致します。

**主 催**：一般社団法人 電子情報技術産業協会 （事務局：総合企画部）



## 講演会の概要

2011年の世界経済は、リーマンショックによる金融危機後、各国の経済対策により回復するかに見えてきましたが、景気刺激効果も次第に薄れ、大規模な財政政策の結果として主要国は財政状況を悪化させ緊縮財政を余儀なくされております。また、競争激化による価格低下などは金額面での押し下げ要因となっている状況です。一方で、スマートフォンやタブレット端末が先進諸国のみならず、新興諸国でも支持され急速に市場が拡大しています。本調査では、国内生産を取り巻く環境は非常に厳しい状況と見てとれます。

本講演会では、調査結果の全体総括と製品分野ごとの動向について報告致します。

また、本年は、成長分野である「クラウドコンピューティング」、「LED（発光ダイオード）」、「太陽電池セル・モジュール」の3分野に注目し市場動向を調査いたしましたので、併せて報告致します。

### プログラム：

- |               |  |
|---------------|--|
| 14:00         | <u>開会の挨拶</u><br>一般社団法人 電子情報技術産業協会 専務理事 半田 力  |
| 14:05~14:25   | <u>電子情報産業の世界生産見通しの活動と全体総括</u><br>調査統計委員会 委員長 大山 裕 氏 《日本電気株式会社》                     |
| 14:25~14:40   | <u>AV機器の動向</u><br>調査統計委員会 副委員長 廣田 聡 氏 《ソニー株式会社》                                    |
| 14:40~14:55   | <u>通信機器・コンピュータ情報端末の動向</u><br>調査統計委員会 副委員長 園部 豊 氏 《三菱電機株式会社》                        |
| —— 休憩（15分） —— |  |
| 15:10~15:30   | <u>電子部品の動向</u><br>電子部品部会統計予測委員会<br>幹事 山下 比呂志 氏 《KOA 株式会社》                          |
| 15:30~15:50   | <u>ITソリューション・サービスの動向</u><br>ソリューションサービス事業委員会<br>副委員長 川井 俊弥 氏 《日本電気株式会社》            |
| —— 休憩（10分） —— |  |
| 16:00~16:50   | <u>注目分野の動向</u><br>~クラウドコンピューティング、LED、太陽電池セル・モジュールの動向~<br>アイサプライジャパン株式会社 副社長 南川 明 氏 |
| 16:50~17:00   | <u>質疑応答</u>  |

**申込要領：**

◆参加費のお支払いは、請求書方式にてお願いしております。

- ① 参加申込書に所定事項をご記入の上、電子メールに本申込書ファイルを添付し、下記お申込先までお送りください。電子メールでの送付が難しい場合には、FAXでのお申込みも受け付けております。
- ② 後日、請求書と受付番号を事務局より郵送させていただきます。
- ③ 指定の振込口座に必ず事前に受講料をお振込ください。(請求書方式につきJEITAとしての領収書は発行致しませんので予めご了承ください。)
- ④ 講演会当日は、会場受付にて受付番号をご提示ください。

**【受講料振込先】**

金融機関名	口座名	口座番号
三井住友銀行 丸ノ内支店(店番号245)	一般社団法人電子情報技術産業協会 <small>こうえんかい</small> 講演会 <small>くちよん</small> □4	普通預金 6678728

◆お振込は講演会当日までをお願い致します。なお、振込手数料は各自ご負担ください。

◆お振込の際には、入金確認の手續き上、請求書に記載の受付番号(4桁)を必ず振込依頼人欄の会社名の前にご記入願います。なお、受付番号、会社名に加え出来るだけ個人名の記入もお願い致します。

(例: 1001 株式会社電子情報 電子情報太郎)

**お申込先:**

E-mail: [seminar1@jeita.or.jp](mailto:seminar1@jeita.or.jp)

一般社団法人 電子情報技術産業協会 総合企画部

(お申込みに関するお問い合わせ：早川) (講演会内容に関するお問い合わせ：根岸、高瀬)

電話 03-5218-1052 FAX 03-5218-1071

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル

-----  
年 月 日

[seminar1@jeita.or.jp](mailto:seminar1@jeita.or.jp) FAX 03-5218-1071

一般社団法人 電子情報技術産業協会 総合企画部 御中

**新春・電子情報産業の世界生産見通し講演会 (1/13) 参加申込書**

貴社名	
ご芳名	
所属・役職	
住所	〒
電話番号	
E-mail	
参加区分	<input type="checkbox"/> 一般 / <input type="checkbox"/> JEITA 会員 / <input type="checkbox"/> 協力団体会員 (団体名: )
受付番号	※記入不要

※申込書に記載された個人情報は、請求書送付等の当該講演会に関する連絡のみに使用させていただきます。

※請求書および受付番号は上記の受講者宛に郵送でお届け致します。

※事務処理の都合上、できるだけ本申込書を電子メールに添付する方法にてお申し込みください。

※協力団体 (7 団体) : CIAJ、CIPA、JEMIMA、JEDIC、JHIMA、JIRA、JPCA、WSTS-JC。

## 報告書のご案内

赤本に関連する書籍をご紹介します。当協会サービスセンター(4階)にて頒布しております。JEITA ホームページ/刊行物コーナーからもお申し込みいただけます。

<http://www.jeita.or.jp/japanese/public/>

### 電子情報産業の世界生産見通し(赤本)

2011年12月 JEITA 発行 A4版40ページ ※A4版8ページ「注目分野に関する動向調査」付き

編集：総合政策部会/調査統計委員会/世界生産見通しWG

定価：3,000円、会員価格：2,000円

電子情報産業の世界生産見通し調査結果を金額ベースでまとめた冊子。世界の中で  
の日系企業の位置づけ、国内生産の状況を分かりやすく解説した。

**総論：世界生産、日系企業生産、国内生産、日系シェア、地域別生産・需要ウェイト**

**各論：電子情報産業を代表する18品目についての分析**

薄型テレビ、映像記録再生機器、撮像機器、カーAVC機器、音声機器、  
携帯電話、サーバ・ストレージ、パソコン、液晶モニタ、磁気ディスク装置、  
プリンタ、イメージスキャナ/OCR、電気計測器、医用電子機器、  
電子部品、ディスプレイデバイス、半導体、ITソリューション・サービス  
(以上18品目)

### 注目分野に関する動向調査

～クラウドコンピューティング、LED、太陽電池セル・モジュール～

2011年12月 JEITA 発行 A4版8ページ

編集：総合政策部会/調査統計委員会/注目分野TF

一般価格：2,000円、会員価格：1,000円

日本大震災では、BCP、データ保持の観点からクラウドの優位性が、電力不足に対する省エネ・創エネ手段としてのLED照明、太陽光発電の優位性などが注目を浴びた。そのため、今年は「低炭素社会と持続的成長を実現する注目分野の動向調査」の2回目として、省エネ、創エネで注目されるクラウドコンピューティング、LED、太陽電池セル・モジュールについて調査を実施した。

参加申込書



[\[wordファイル \(36KB\) \]](#)